



MAZDA IMPACT REPORT 2024

マツダインパクトレポート2024



1. 資金充当レポーティング

調達資金の充当状況

レポーティング項目	金額(億円)
トランジション/グリーン/ソーシャルボンドの調達額合計	150
2023年度までの充当額*1	53
未充当額*2	97

*1 リファイナンスの割合は、68.6%です。

*2 未充当残高は現金又は現金同等物にて管理しています。

適格クライテリアごとの充当状況

適格クライテリア	SDGs債種別	トランジションボンド第1回	
		充当額(億円)	割合(%)
1) バッテリーEV(BEV)の開発・生産	トランジション/グリーン	10	19
2) マルチソリューションによるCO ₂ 排出量の削減	トランジション	42	79
3) 工場内発電の脱炭素化*	トランジション	0	0
4) 再生可能エネルギーの調達	トランジション/グリーン	-	-
5) 自動車製造工程におけるエネルギー効率の改善	トランジション	1	2
6) 先進安全技術/高度運転支援技術	ソーシャル	-	-
合計		53	100

*充当金額は1億円未満のため0を記載

2. インパクトレポーティング

Well-to-Wheel視点でクルマのCO₂排出量を削減(グリーン/トランジション適格事業)

適格クライテリア	レポーティング項目	2023年度実績・進捗状況
1)~ 2) 共通	1台あたりの平均CO ₂ 排出量	42.8 t-CO ₂ /台
	BEVの販売台数と比率 ^{*1}	7,713 台、0.62%
1) BEVの開発・生産	BEVのCO ₂ 排出量の削減量等の環境改善効果	181 千t-CO ₂
	BEVの研究開発	新型電動車「MAZDA EZ-6 (マツダ・イージーシックス) ^{*2} 」を、北京モーターショー2024において初公開(2024年4月)。
2) マルチソリューションによるCO ₂ 排出量の削減	PHEVおよびHEVの研究開発	シリーズ式プラグインハイブリッドモデル MX-30 Rotary-EVを欧州・日本向けに発売(2023年)。北米では、プラグインハイブリッド、マイルドハイブリッドモデルのCX-90を2023年に発売、CX-70を2024年に発売。欧州・日本などでプラグインハイブリッド、マイルドハイブリッドモデルなどを備えたCX-80の販売を2024年秋以降順次開始。

*1 第三者検証を受けています。

<https://www.mazda.com/ja/sustainability/verification/>

*2 EZ-6は、マツダと合併事業のパートナーである重慶長安汽車股份有限公司の協力の下、長安マツダが開発・製造を行う新型電動車(新エネルギー車)の第1弾であり、2024年中に中国で発売されます。

2. インパクトレポーティング

■ 自社工場のカーボンニュートラル化(グリーン/トランジション適格事業)

適格クライテリア	レポーティング項目	2023年度実績・進捗状況			
			2013年度(基準年)	2022年度	2023年度
3)~5)共通	グローバル自社工場におけるScope1、2のCO ₂ 排出量*と削減率	排出量(千t-CO _{2e})	928	785	802
		削減率(%)	-	15.5	13.6
3)工場内発電の脱炭素化	発電設備のCO ₂ ゼロエミッション化と、製造設備、製造工程のカーボンニュートラル化に向けた研究開発	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年3月、太陽光発電によるオフサイトコーポレートPPAに関する契約を締結し、電力の受給を開始。 ・2024年8月、マツダ本社工場内における石炭火力発電設備に替わり、アンモニアを活用した火力発電設備の建設計画について、環境影響評価を開始。 			
4)再生可能エネルギーの調達	再生可能エネルギーの消費量と利用率		2022年度	2023年度	
		消費量(MWh)	4,923	7,395	
		利用率(%)	0.2	0.3	
5)自動車製造工程におけるエネルギー効率の改善	エネルギー効率の改善によるCO ₂ の排出量と削減率		2013年度(基準年)	2022年度	2023年度
		排出量(千t-CO _{2e})	0.731	0.691	0.658
		削減率(%)	-	5.5	10.1

*第三者検証を受けています。

<https://www.mazda.com/ja/sustainability/verification/>